

事業概要シート

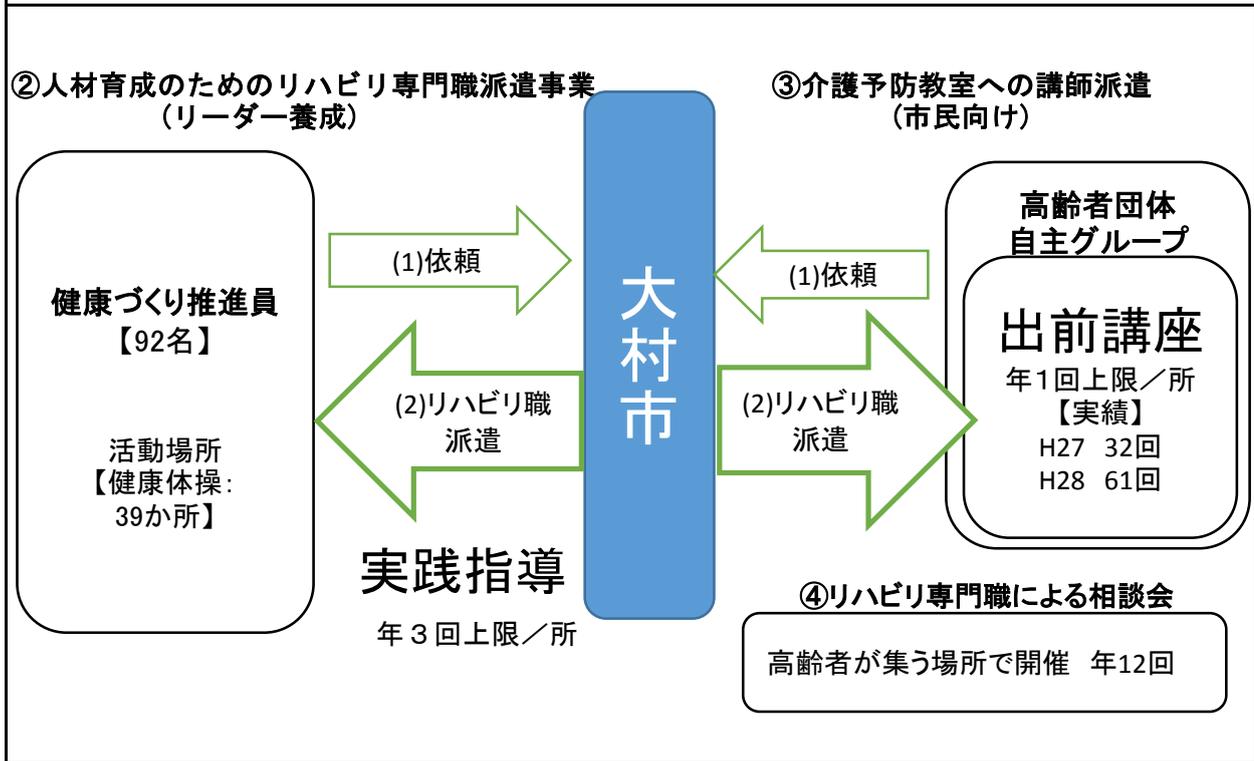
施策： 高齢者を地域で支える体制の整備

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 地域リハビリテーション推進事業	新規	予算額		3,542 千円
		《 》		
財源内訳	国庫支出金	884 千円		
	県支出金	442 千円		
	地方債			千円
	その他	959 千円		
	一般財源	1,257 千円		

【事業の目的・概要・対象】

- 1) 目的 高齢者が身近な場所で運動に取り組み、日頃から身体機能の維持・向上に努め、介護予防・重症化予防を図る。
- 2) 概要
 - ①元気づくりガイドブック(リハビリテーションマップ)作成
身近な場所で高齢者がリハビリテーション活動に参加できるよう、リハビリテーションの基礎知識や地域の社会資源を掲載したガイドブックを作成する。
 - ②人材育成のためのリハビリ専門職派遣事業
地域で活動している健康づくり推進員のフォローアップ研修として、健康づくり推進員が活動する場へ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種を派遣し、人材育成を行う。
 - ③介護予防教室(出前講座・運動編)への講師派遣
出前講座・運動編への講師(理学療法士)派遣を行い、地域住民への運動に関する介護予防について普及啓発を行う。
 - ④リハビリ専門職による相談会
高齢者が集う場所にて、リハビリ専門職による相談会を開催する。
- 3) 対象 高齢者と地域のリハビリテーション活動を支える健康づくり推進員



【背景】

加齢に伴う筋力や関節可動域の低下は高齢者にとって転倒のリスクが高まるだけでなく、日常生活や社会参加の意欲の低下にも影響を与えることから、高齢者が身近な場所でリハビリテーション活動を行えるよう地域リハビリテーションの充実を進めていく必要があるが、マンパワーが不足している。そのため、既存の社会資源(高齢者団体・自主グループ、健康づくり推進員、リハビリ専門職)を活用しながら、人材育成を行う必要がある。

担当課	福祉保健部 長寿介護課	問合せ先	0957-53-8141 (内線: 80-201)
-----	-------------	------	---------------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	運動に関する出前講座開催数	目標値 回	61	60	80	80	80
②	健康づくり推進員への講座開催数	目標値 回	—	—	135	135	135

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	健康づくり推進員の健康体操活動数	目標値 箇所	38	40	45	45	45
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費					3,542	3,542	7,084
国庫支出金					884	884	1,768
県支出金					442	442	884
地方債							0
その他					959	959	1,918
一般財源					1,257	1,257	2,514
人件費					1,918	1,918	3,836
職員					0.25人	0.25人	0.50人
時間外勤務					50h	50h	100h
嘱託員							0.00人
フルコスト	0	0	0	0	5,460	5,460	10,920

妥当性 (市の関与)	高齢者が増加する中、身近な地域において、介護予防や社会参加、交流を図る場を整備する必要性は高い。
有効性 (施策貢献度)	高齢者が住み慣れた地域において、いつまでも元気に過ごすために、リハビリ専門職が地域に出向いて地域組織の支援・育成を行うことは、有効である。
効率性 (コスト)	専門職の派遣やガイドブック作成のための必要最低限の経費であり、これ以上のコスト削減は見込めない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり